年間授業計画　様式例

高等学校　令和７年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　　１組～　　８組

使用教科書：（　書Ⅰ　光村図書　　）

教科　芸術　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】各書体の特徴と用筆・運筆法　書道用語の理解をする

【思考力、判断力、表現力等】書体の変遷について考察し、書風の特徴を理解する。

【学びに向かう力、人間性等】古典作品から発展して、自己表現・作品の制作

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各書体の特徴と用筆・運筆を身に付ける。	自分の考えをまとめ、創造的な表現を工夫する。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
１学期	書写から書道への移行	用具・用材の解説	○	○	○	○	【知識・技能】用具・用材のの扱い方に慣れ、基本点画を理解している。 【思考・判断・表現】筆の扱い方・制作手順を理解して表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】各書体の古典作品に関心を持ち、集中して課題に向き合う。	○	○	○	4
	楷書の学習（基本点画）	楷書の用筆法・運筆法・字形の構成		○		○		○	○	○	8
	古典作品を通じて楷書を学ぶ	「九成宮醴泉銘」・唐の四大家		○		○		○	○	○	8
	行書の学習（基本点画）	行書の用筆法・運筆法の解説・臨書（形臨・意臨）		○		○	【知識・技能】筆の扱い方・形をきちんと捉える。 【思考・判断・表現】用紙に対する文字構成の表現を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】各古典作品に関心を持つ。	○	○	○	8
２学期	草書の学習・隷書の学習	・文字の造形を学ぶ・歴史を学び・文字の成立の説明		○		○	【知識・技能】 筆使いを理解している 字形を理解している 【思考・判断・表現】 作品表現として内容を理解し、作業工程を組み立てられる。 【主体的に学習にと取り組む態度】 文字の成立に関心を持ち実践していく。	○	○	○	20
	篆書の学習・古典作品を参考にした創作作品	辞書を使用して歴史を学び、時代背景や用筆法の解説		○		○		○	○	○	12
３学期	仮名の書・成立と種類	日本の仮名作品の美について説明・仮名の字源			○	○	【知識・技術】小筆の扱い方の理解 【思考・判断・表現】仮名の字源・歴史意義の理解 【主体的に学習に取り組む態度】各作品の特徴に関心を取り組む	○	○	○	10
	漢字感交じりの書（漢字と仮名の調和）	語句・詩文を題材にし、配列・余白・用具の工夫	○	○	○	○		○	○	○	8
											合計 78